

がん専門薬剤師認定試験の出題基準と範囲および見本

(平成21年度)

がん専門薬剤師認定試験の出題基準と範囲および見本は、以下の通りである。

A. がん専門薬剤師認定試験の出題基準と範囲

1) 乳がん、肺がん、消化器がん、婦人科領域がん、造血器腫瘍、泌尿器科領域がん

- ①ガイドラインに関する知識
- ②疫学に関する知識
- ③がんの特徴と臨床症状に関する知識
- ④がんの病期診断に関する知識
- ⑤がん薬物治療の臨床薬理及び治療選択と予後に関する知識
(術前・術後補助療法、化学放射線療法、進行・再発に伴う治療など)
- ⑥その他

2) 臨床試験

- ①臨床試験と研究デザイン
- ②データマネージメント
- ③その他

【参考資料】

- ・ 集中教育講座テキスト (日病薬・集中教育講座にて配布)
- ・ 新臨床腫瘍学 (南江堂)
- ・ がん化学療法・分子標的治療 update (中外医学社)
- ・ 抗がん剤調製マニュアル: 日本病院薬剤師会編 (薬事日報社)
- ・ 各学会作成の診療・治療ガイドライン集及び NCCN ガイドラインなど
- ・ インタビューフォーム
- ・ がん臨床試験の実践 (医学書院)

B. がん専門薬剤師試験問題見本

問1. 次の乳がんに関する記載について正しい組み合わせはどれか。

- a. ER-かつPR-乳癌に対して、タモキシフェン投与は推奨されていない。
- b. 閉経前ホルモンレセプター陽性乳がん患者へのゴセリリン+タモキシフェン療法は、化学療法のCMF療法(シクロホスファミド/メトトレキサート/フルオロウラシル)を上回るDFS(無病生存期間)を示す。
- c. エピルビシンの総投与量は500mgを超えるとうっ血性心不全を起こすことがあるので注

意することとされている。

- d. 末梢神経障害を起こす薬剤にタキソテールがある。タキソテールは、シスプラチンとの併用で末梢神経障害が増強する可能性があり、併用には十分注意が必要である。
- e. 閉経後のエストロゲンは、副腎内のアロマトラーゼによりアンドロゲンからエストロゲンに変換されることで作られる。

	a	b	c	d	e
1	正	正	誤	誤	誤
2	誤	正	誤	正	正
3	誤	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	誤	正
5	正	誤	正	誤	正